

「第32回萩原朔太郎賞受賞者最果タヒ展 愛を囁くのは世界の方で、私たちはそれを二人で聞いている。ここで、二人で真珠になろう。」を開催します

1 概要

素性も経歴も出身地も明かさずスマホで詩を書く最果タヒ。詩人という枠を超え、小説やエッセイ、翻訳など多彩な才能を発揮しています。本展では受賞作『恋と誤解された夕焼け』や書き下ろしの新作を含む詩のインスタレーションで展示会場を埋め尽くします。

2 公開日時・会場等

- (1)会期 6月7日(土)～9月21日(日)
- (2)会場 前橋文学館2階企画展示室(千代田町三丁目12-10)
- (3)時間 9時～17時(入館は16時30分まで)、水曜休館
- (4)観覧料 一般700円(高校生以下、障害者手帳持参の人とその介護者1人無料)
- (5)無料日 6月7日(土)、7月11日(金)～13日(日)(前橋七夕まつり)
9月6日(土)(開館記念日)

3 関連イベント(別紙参照)

- (1) オープニングイベント
高校生による朗読会「好きだと思ふ瞬間、流れ星になる。」
最果タヒの詩を高校生が朗読、群読します。
- (2) 担当学芸員ギャラリーガイド(要観覧券)
- (3) 朗読会(事前予約要)
「愛を囁くのは世界の方で、私たちはそれを2人で聞いている。」
俳優・青柳いづみが最果タヒの詩の世界観を声で表現します。
- (4) 朗読会(事前予約要)
「恋と誤解された夕焼け」全43篇イッキ読み!!
受賞作『恋と誤解された夕焼け』に収載された全43篇を萩原朔美特別館長や一般のみなさんが朗読します。
- (5) まちなか展示
前橋中央通り商店街と連携し、商店街に最果さんの詩篇を展示します。

担 当 文化国際課文学館
担当者 高坂・中島
電 話 027-235-8011